



“地域のことは地域で考えよう”

2015年7月27日

おきぎん県内景況・速報 2015年6月

— 県内景況は、拡大している —

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数は下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは

下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2015年6月分)

◎2015年6月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や雑貨などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、白物家電の売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数は軽乗用車需要の減少などから前年同月を下回りました。

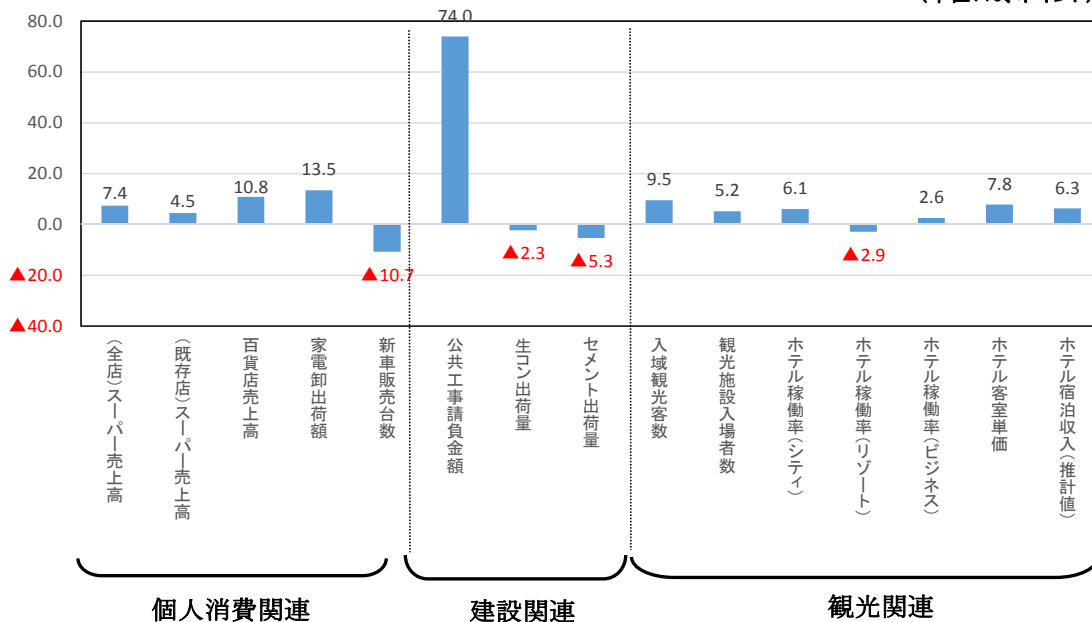
建設関連では、公共工事請負金額は、国関連の発注工事の増加などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は33ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連において資材関連で好調だった前年を下回り、個人消費は前年の消費税増税に伴う落ち込みからの反動増がみられる中、観光関連では好調な動きが続いていることなどから「**県内景況は拡大している**」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から17ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



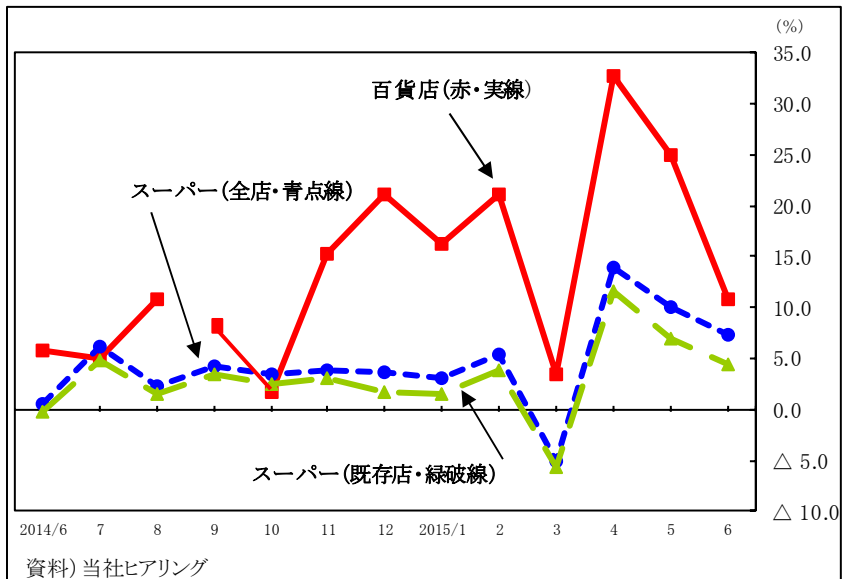


■個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	8.8
10	3.4	2.4	1.7
11	3.8	3.0	15.2
12	3.6	1.7	21.0
2015/1	3.0	1.5	16.3
2	5.4	3.8	21.0
3	△ 5.1	△ 5.7	3.5
4	13.9	11.6	32.8
5	10.1	6.9	25.0
6	7.4	4.5	10.8



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

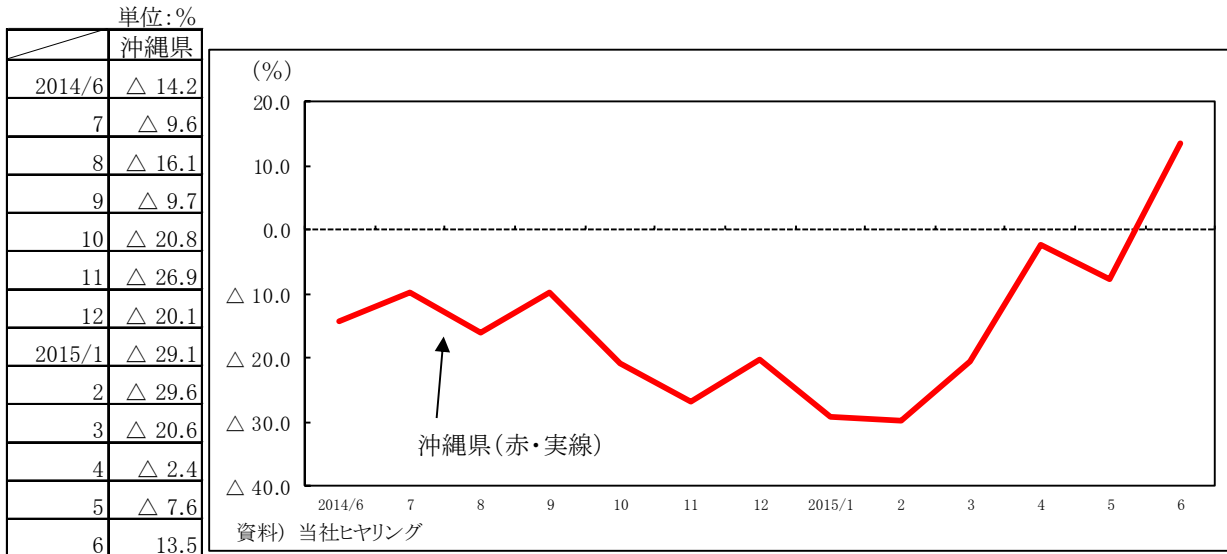
6月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比7.4%増)**」が3ヵ月連続で前年同月を上回りました。休日が1日少なかったものの、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増や新規出店効果などから、ウエイトの高い「食料品(同6.1%増)」を中心に、前年同月を上回りました。

「**既存店ベース(同4.5%増)**」は店舗改装による集客効果などから、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同3.5%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「衣料品(同0.06%増)」は気温が高く推移したものの、前年より梅雨の期間が短いことが影響し、夏物衣料や肌着などの動きが例年より鈍く、前年並みとなりました。家電を含む「家庭用品(同9.9%増)」も訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類など)や、白物家電全般(エアコン、洗濯機、冷蔵庫)の需要増加などにより、前年同月を上回りました。

百貨店売上高*は休日が1日少なかったものの、「衣料品」や「雑貨」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました(同10.8%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同3.1%増)」は、主力商品である「婦人服(同2.5%減)」がクリアランスセール開催時期変更から落ち込んだものの、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増や販促強化による集客効果などから、前年同月を上回りました。「食料品(同14.7%増)」は、テナント改装や催事開催による集客効果などから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同31.9%増)」や「身の回り品(同3.1%増)」では、フロア限定セール企画や継続的な訪日観光客需要により売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

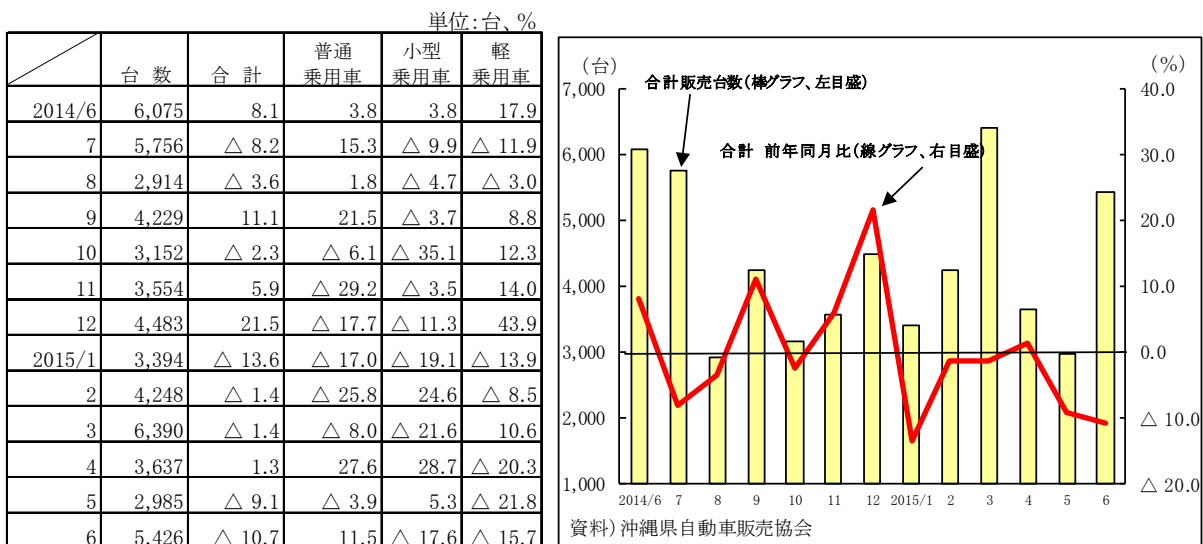
②家電卸出荷額…白物家電の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注)前年同月比

家電卸出荷額は、白物家電(エアコン、冷蔵庫、洗濯機)の売上増加などにより、15ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 13.5%増、太陽光パネルの影響を除くと 25.1%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 55.2%減)」は条件付き接続の影響、「テレビ(同 2.0%減)」は前年の4K テレビ試験放送開始に伴う需要の反動減などから下回りました。一方、「エアコン(同 39.2%増)」は前年より梅雨明けが早く、気温が高く推移したことなどから、新型モデルなどの売れ行きが好調で、前年同月を上回り、「洗濯機(同 45.3%増)」、「冷蔵庫(同 30.4%増)」は、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増などから、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…軽乗用車需要の減少などから、前年同月を下回る。



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 5,426 台(同 10.7%減)となり、軽乗用車需要の減少などから 2ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 11.5%増)」が 2ヵ月ぶりに上回ったものの、「小型乗用車(同 17.6%減)」はレンタカー需要の一部が 7月に後ずれしたことなどから 3ヵ月ぶりに下回り、「軽乗用車(同 15.7%減)」は軽自動車税増税の影響などから 3ヵ月連続で下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

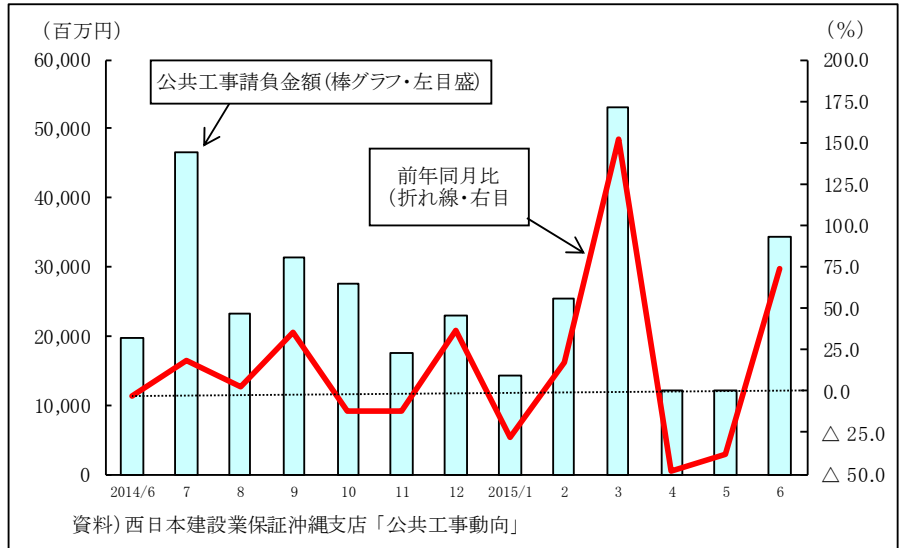


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2014/6	19,751	△2.8
7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8
11	17,512	△11.9
12	22,968	36.8
2015/1	14,359	△28.4
2	25,384	17.1
3	53,096	151.7
4	11,991	△47.8
5	12,215	△37.9
6	34,358	74.0

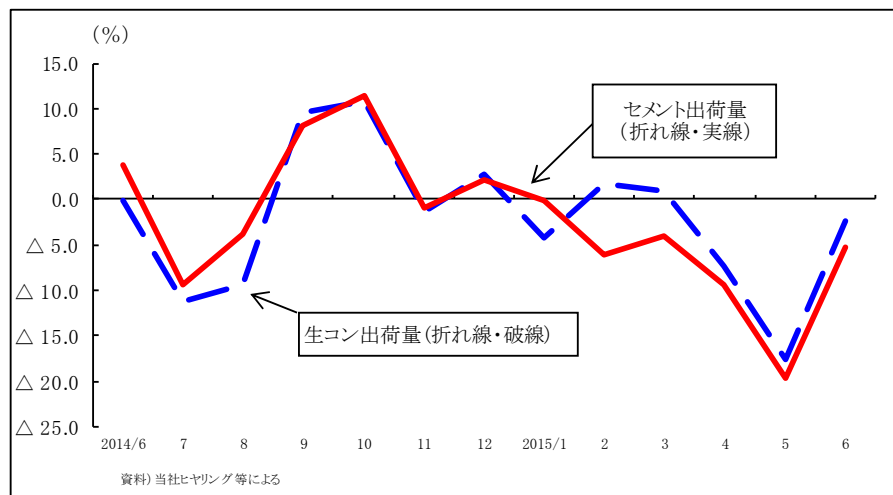


6月の公共工事請負金額は、前年同月比74.0%増の343億5,800万円となりました(3ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「国(同182.6%増)」は那覇空港滑走路増設関連工事など、「独立行政法人等(同714.7%増)」は沖縄自動車道関連工事、「沖縄県(同6.5%増)」は浄水場関連工事、「市町村(同8.2%増)」は小学校施設関連工事など、「その他の公共的な団体(同196.7%増)」は北部での施設関連工事などで前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

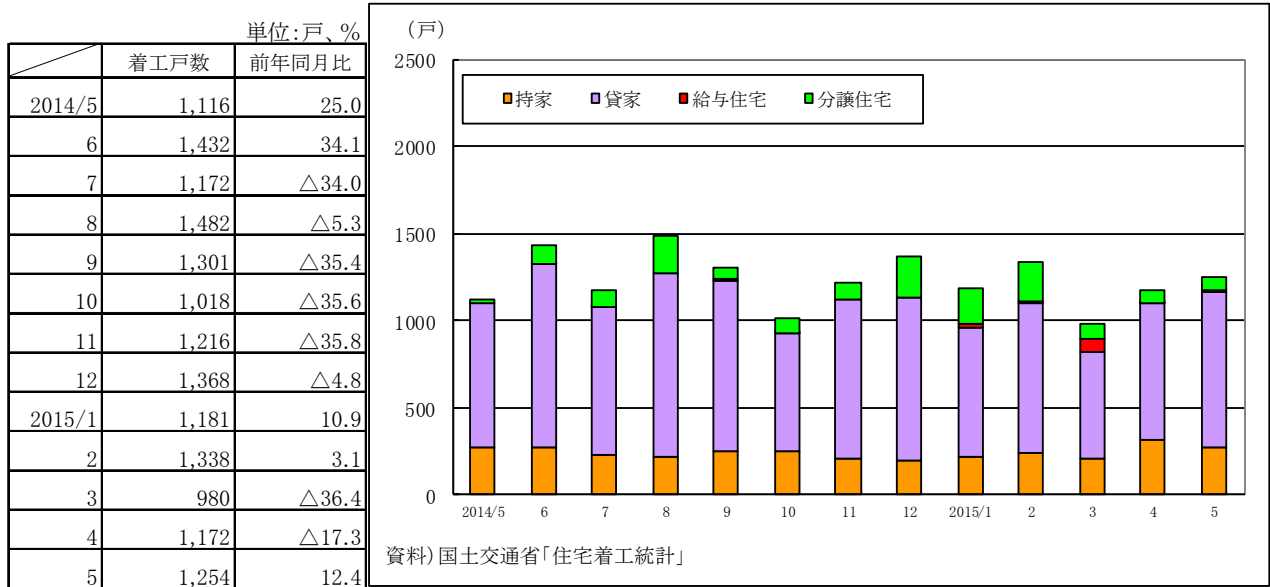
	生コン	セメント
2014/6	r △0.1	3.9
7	r △11.2	△9.3
8	r △9.4	△3.9
9	r 9.6	8.2
10	10.8	11.4
11	△1.3	△1.0
12	2.7	2.2
2015/1	△4.2	△0.04
2	1.7	△6.0
3	0.9	△3.9
4	△7.2	△9.3
5	△17.6	△19.6
6	△2.3	△5.3



(注1)セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある
(注2)生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は2.3%減少し、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より1.8%下回り、民間工事向け出荷も2.6%下回りました。**セメント**の出荷量は5.3%減と6ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(5月)…着工戸数は前年同月を上回る。



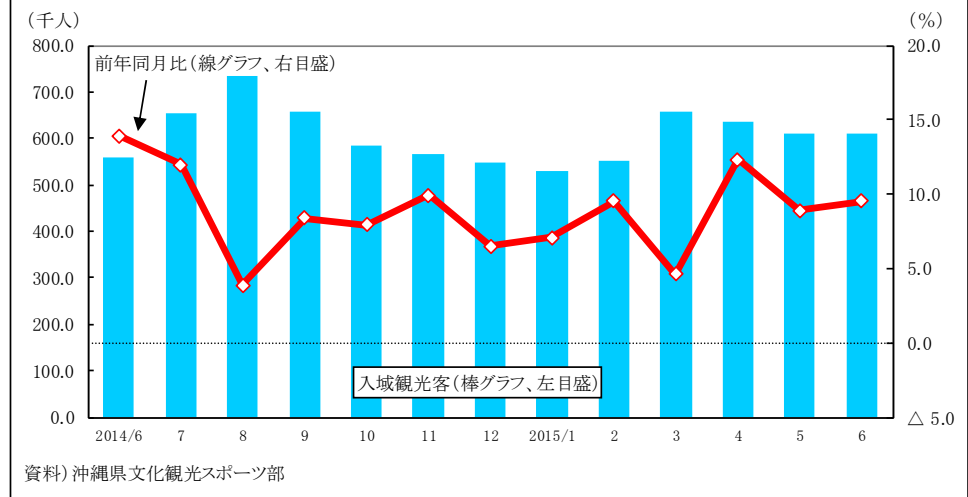
新設住宅着工戸数(5月)は、全体で前年同月比12.4%増の1,254戸と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同7.1%増)」をはじめ、「持家(同1.9%増)」や「分譲住宅(同558.3%増)」なども前年同月を上回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…33ヵ月連続で前年同月を上回る。

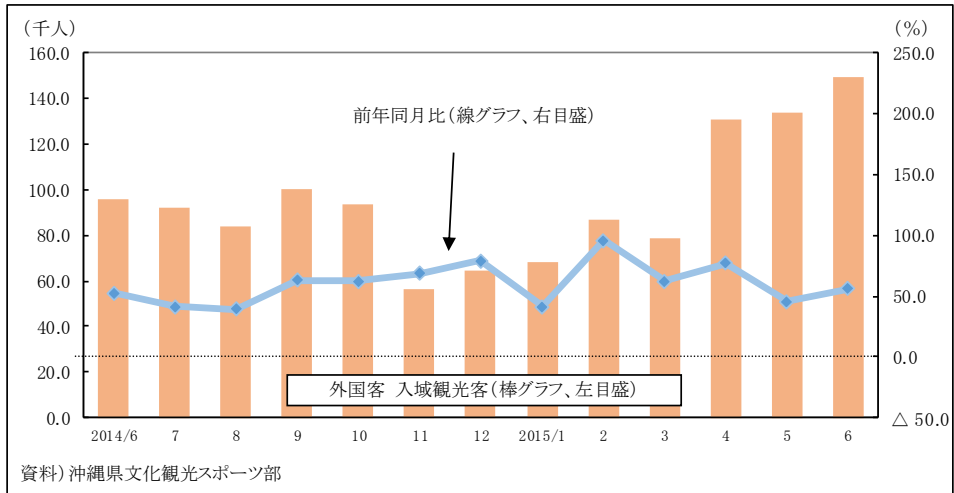
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	733.3	3.9
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1
2	550.9	9.5
3	659.0	4.6
4	635.4	12.3
5	611.4	8.9
6	610.0	9.5



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…23ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/6	95.5	52.8
7	92.3	41.6
8	84.2	39.4
9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2
2	86.7	95.7
3	79.0	62.2
4	130.6	76.7
5	133.7	45.8
6	149.2	56.2



※外国客は乗務員等を含む

6月の入域観光客数は、52,700人多い610,000人(前年同月比9.5%増)となり、33ヵ月連続で前年同月を上回りました(6月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同0.2%減)」は460,800人と、LCCを中心とした航空路線の拡充効果がみられたものの、東京や名古屋方面において団体旅行などの旅行商品の販売等が一部伸び悩んだことなどから、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

他方、「外国客(同56.2%増)」は、149,200人と23ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同50.0%増)」「韓国(同67.5%増)」「中国本土(同119.5%増)」「香港(同35.3%増)」

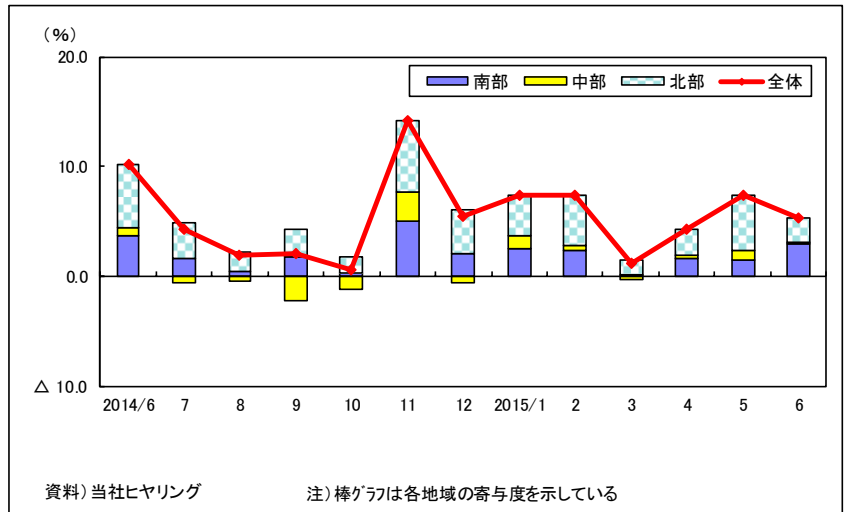
※乗務員等を除く2015年6月実績＝全体593,200人(同8.7%増)、外国客132,400人(同58.2%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…16ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/6	r 10.2	r 9.4	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△ 4.6	6.0
8	1.8	1.3	△ 3.0	3.4
9	2.0	5.1	△ 16.6	4.8
10	0.6	0.7	△ 8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△ 4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.2	△ 2.2	2.9
4	4.3	4.2	2.1	5.1
5	7.3	r 3.4	7.0	10.9
6	5.2	7.4	1.8	4.3

* 調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より5.2%増加(16ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同7.4%増と20ヵ月連続、中部は同1.8%増と3ヵ月連続、北部は同4.3%増と16ヵ月連続で前年同月を上回りました。

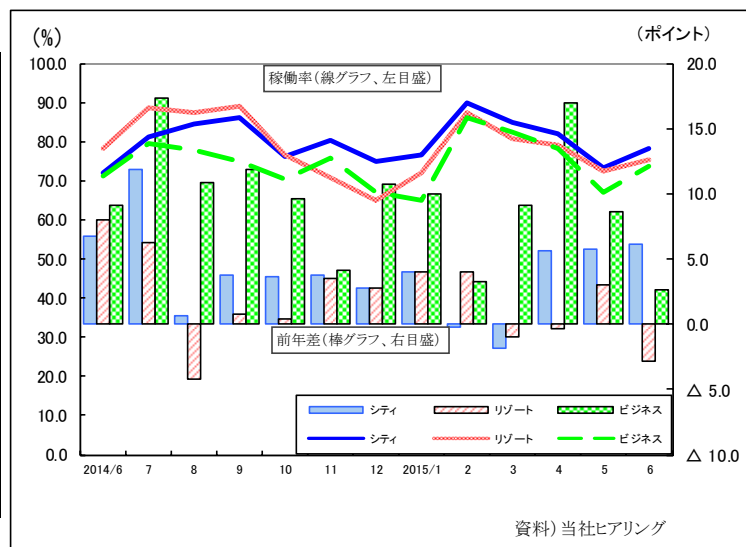
③ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/6	72.1	r 78.2	71.0	6.7	r 8.0	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	80.4	70.6	75.7	3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7
2015/1	76.4	72.0	65.1	4.0	4.0	10.0
2	89.7	87.4	86.1	△ 0.2	4.0	3.2
3	84.9	80.6	82.4	△ 1.9	△ 1.0	9.1
4	82.1	79.1	78.1	r 5.6	△ 0.4	16.9
5	73.1	72.4	67.1	5.7	3.0	8.6
6	78.2	75.3	73.6	6.1	△ 2.9	2.6

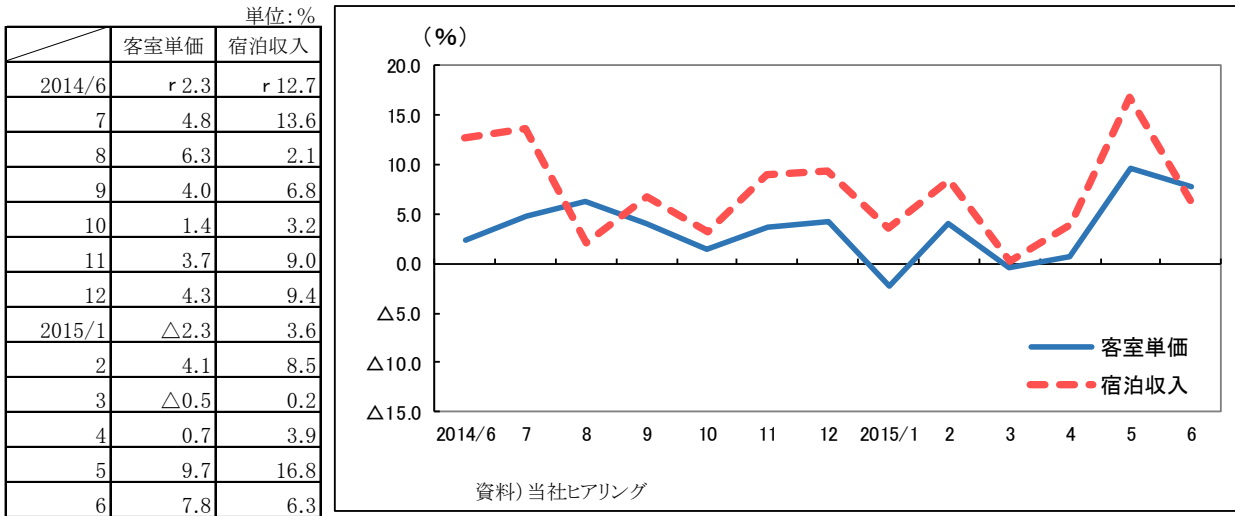
注) シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが78.2%と6.1ポイント上昇(3ヵ月連続)、リゾートホテルが75.3%と2.9ポイント下落(2ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが73.6%と2.6ポイント上昇(20ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

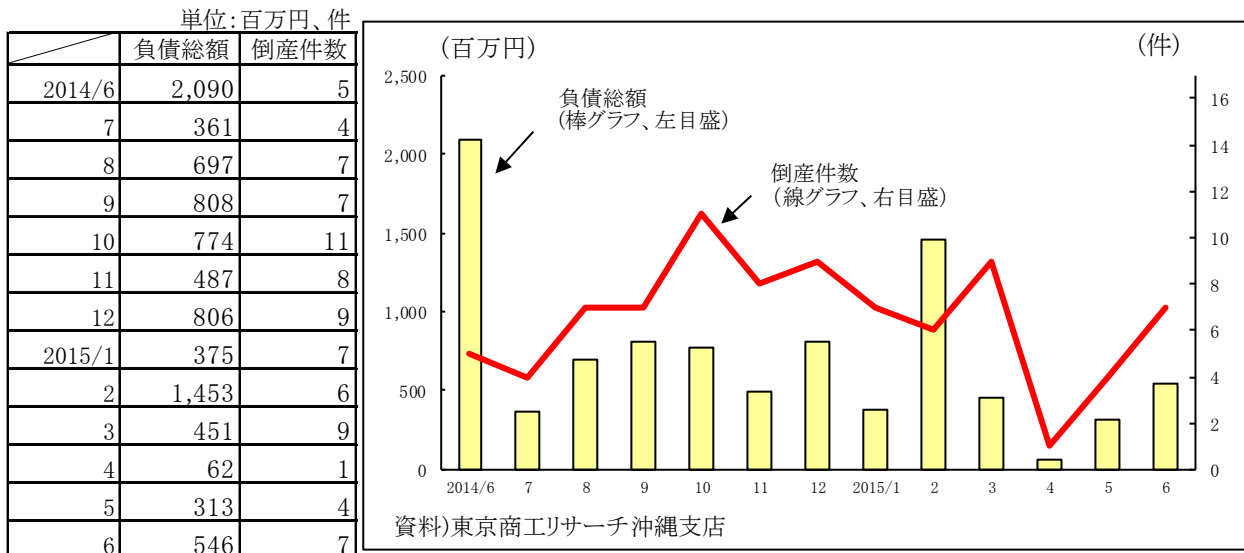
※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比7.8%増と前年同月を上回り、**宿泊収入**も同6.3%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

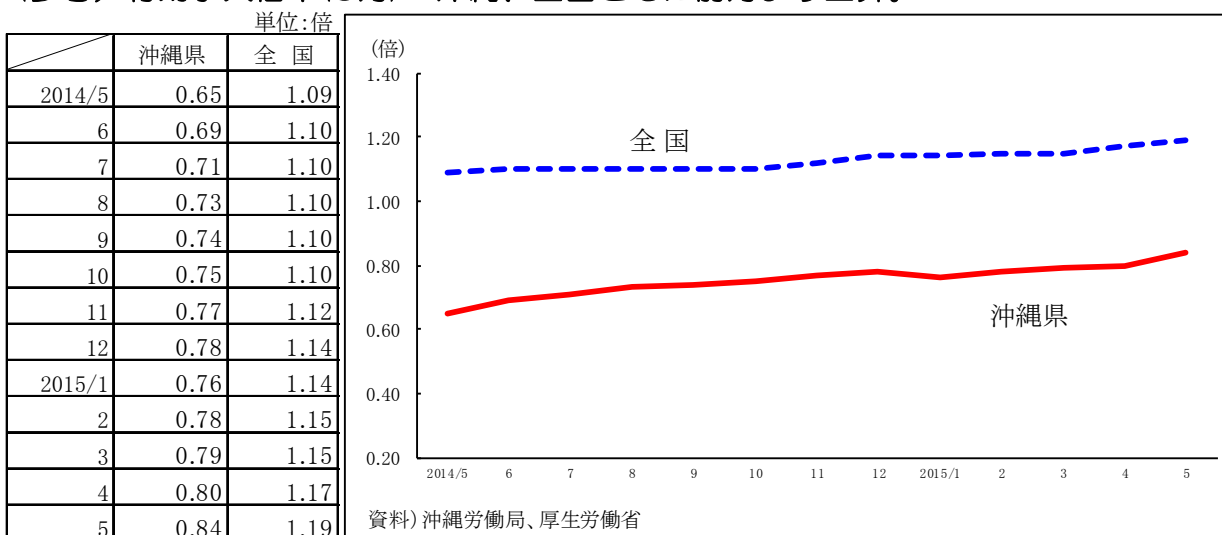


6月の**企業倒産件数**は、7件(うち、1億円以上の大口倒産は3件)発生し前年同月より2件多く、負債総額は5億4,600万円と73.9%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(5月)…沖縄、全国ともに前月より上昇。

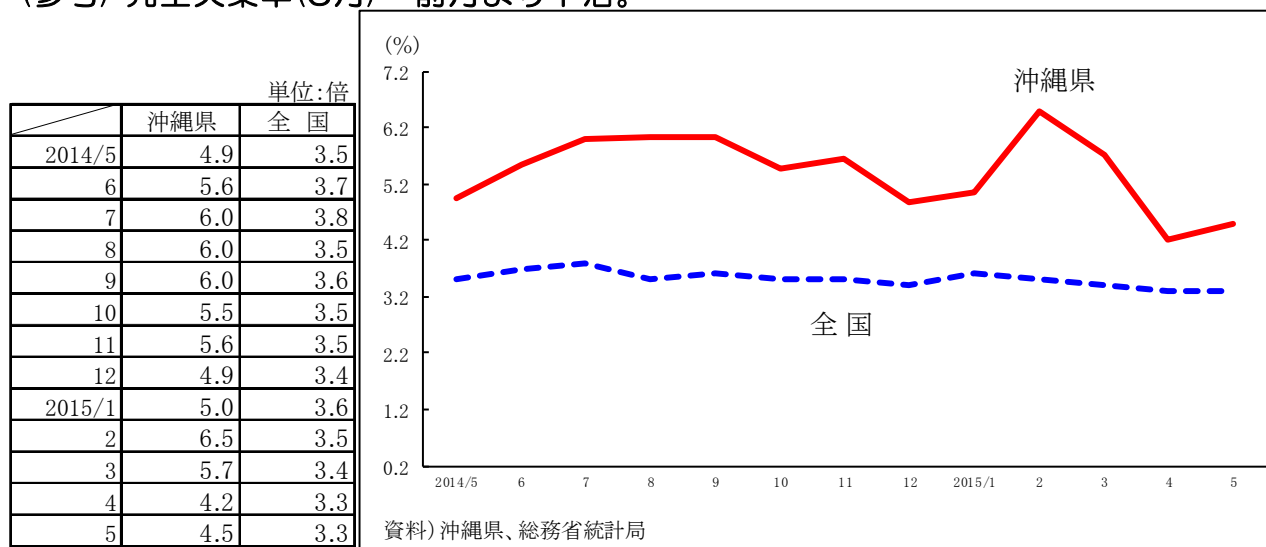


注)季節調整済

注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

5月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.8%増の23,692人に対して、月間有効求職者数(同上)は同3.1%減の28,039人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.84倍(本土復帰以降最高値)となり前月より0.04ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(5月)…前月より下落。



注) 季節調整済

5月の完全失業率(季節調整値)は、4.5%となり前月より0.3ポイント上昇しました。